

私立大学研究ブランディング事業

平成30年度の進捗状況

学校法人番号	461003	学校法人名	志學館学園		
大学名	鹿兒島女子短期大学				
事業名	鹿兒島の食文化の継承と発展～「鹿女短 食育ステーション」構築事業～				
申請タイプ	タイプA	支援期間	5年	収容定員	940名
参画組織	南九州地域科学研究所、地域連携センター、博物館、図書館、児童教育学科、生活科学科、教養学科				
事業概要	鹿兒島県は温帯から亜熱帯まで南北600kmにも及び、各地に多様な食材や食習慣、郷土料理等の食文化が形成されている。本事業では、本学を鹿兒島の食文化・食育に関わる人・もの・情報が行き交う「食育ステーション」として、食育に関わる情報・技術の発信拠点とする。研究成果は、「鹿兒島の食アンバサダー」の輩出による食文化の継承と、健康的な食生活の情報提供や食育教材の開発・普及等により、鹿兒島の食文化の発展に寄与する。				
①事業目的	鹿兒島の食文化の調査・研究とそれに基づく、鹿兒島の食文化についての知識や技能を身につけた学生を「鹿兒島の食アンバサダー」として全学的に養成し、地域に輩出する。この「鹿兒島の食アンバサダー」を主体として、県内各地で食育活動を行うことにより、鹿兒島の食を通して「人」、「もの」、「情報」が、本学を「ステーション」として行き交うようになる。これにより、本学を「鹿女短 食育ステーション」として、鹿兒島県内の食育・食文化の情報と技術の発信拠点とし、鹿兒島の食文化を次世代に継承していくためのシステムを構築する。				
②30年度の実施目標及び実施計画	<p><実施目標></p> <p>平成30年度は、主な取り組みが開始または試行されることになる。しかしながら、データベースに関しては、まだコンテンツが少ないため、運用開始には未だ至らない段階である。そこで、平成30年度の目標は、「鹿兒島県の郷土料理データベース構築に向けたコンテンツの集積」とする。達成度の測定は、データベースのコンテンツ数により可能である。</p> <p><実施計画></p> <p>①食育・食文化の研究ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿兒島県の郷土料理データベース構築に向けたコンテンツの集積 本研究ブランディング事業に係る学内及び南九州地域科学研究所での研究活性化のための方策の検討 学科・専攻を超えた食育研究促進のための方策の検討 食育教材の開発・試作品の作成 博物館における成果発表のための展示の検討 <p>②鹿兒島の食アンバサダーの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿兒島の食アンバサダーの養成開始と、見出された養成するうえでの課題についての検討と解決 鹿女短スマイル食育講座の開講と来年度の計画作成 鹿女短ファーム スマイルランチの実施 鹿女短スマイルクッキングの実施と全学的な取り組みの方策についての検討 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> かごしま郷土料理ジュニアマイスター講座の開講 鹿女短スマイル食育プロジェクトの遂行 かごしま食育フェスタへの参加 				

<p>③30年度の事業成果</p>	<p><事業成果></p> <p>①食育・食文化の研究ブランディング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿女短スマイル食育プロジェクト等でのレシピ化への取り組みや、料理教室等で実施したレシピ・写真等の公開に向けた検討を開始した。また、学科・専攻を超えた食育研究促進のための方策に関しては、指宿山川子どもクラブでの活動等について検討を行い、一部試行した。 ・鹿女短スマイル食育プロジェクトの「西郷さんと大豆の豆助」プロジェクトによる「鹿女短の食育絵本 西郷さんと大豆の豆助」の試作品が完成した。 ・本学博物館を「鹿女短食育ステーション」として、展示を開始した。 <p>②鹿児島県の食アンバサダーの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県の食アンバサダーの養成を開始し、鹿女短スマイル食育講座として「今だけここだけ講座(食と教育と歴史)」4回(6月2日「西郷家」「大久保家」の台所～「つけ揚げ」を作ってみましょう～、6月23日「島津家」の台所～「酒ずし」を作ってみましょう～、8月10日「西郷さん」「大久保さん」の家計簿と家系図(暮らしと家族関係)講師:東川隆太郎氏及び「子孫から見た西郷隆盛」講師:西郷隆夫氏)とスタンダード講座1回(4月28日「あくまき」づくり)を開講するなどにより、2月6日の第1回認定式において116名の「鹿児島県の食アンバサダー」が認定された。その他、来年度の鹿女短スマイル食育講座の開講の計画の作成、鹿女短ファーム・スマイルランチの料理教室の開講、鹿児島県の食アンバサダーの養成に関わる課題などの検討を行った。 <p>③その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かごしま郷土料理ジュニアマイスター講座が開講され(8月6日、9月18日、12月25日、2月5日)、今年度新たに33名の「かごしま郷土料理ジュニアマイスター」が誕生し、合計66名となった。 ・鹿女短スマイル食育プロジェクトとして、「明治維新150周年薩摩の食・再発見プロジェクト 明治の洋食・平成の洋食」、「未来への贈り物☆プロジェクト～持続可能な社会を目指して「もったいない」を見直そう～」、「畑作物栽培・加工プロジェクト～かごしま丸ごと食育～」、「Healthy & Smile プロジェクト～笑顔をみんなに～」及び「西郷さんと大豆の豆助」プロジェクト～オリジナル食育絵本の作成と絵本を活用した食育教室」の5つのプロジェクトが活動を行い、延べ4904名(3月末時点)の参加を得た。 ・12月1日に開催された「第4回かごしま食育フェスタ」に、鹿女短スマイルプロジェクトの畑作物栽培・加工プロジェクトが参加した。
<p>④30年度の自己点検・評価及び外部評価の結果</p>	<p>(自己点検・評価)</p> <p>本事業に係る学内及び南九州地域科学研究所での研究活性化のための方策に関しては、十分な議論は行っていないが、食育研究において、生活科学科の食物栄養学専攻と生活科学専攻及び児童教育学科の教員が、それぞれの専門性を活かして連携し、取り組んでいる。本事業の主体となる「鹿児島県の食アンバサダー」の養成に関しては、事業2年目において認定基準を作成し、116名の「鹿児島県の食アンバサダー」を認定できている。また、食育研究の成果の発信の一つとして、食育教材の開発・試作品である「西郷さんと大豆の豆助」を作成し、公表したことにより、本事業が順調に進捗していると判断している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>平成31年2月22日(金)に開かれた「COC活動外部評価」において、本事業の進捗状況について報告し、その評価を受けました。</p> <p><評価></p> <p>「今ここだけ講座」は、薩摩藩の歴史と食を切り口に、地域住民、学生が一緒になって取り組む、非常に興味深い内容になっています。</p> <p>スマイル食育プロジェクトでは、企業などとも連携を図りながら、食材の栽培収穫から商品やレシピの開発など様々な観点から取り組まれており、地域連携、地域貢献という点では大いに評価できるのではないかと思います。</p> <p>かごしま郷土料理ジュニアマイスター講座は、歴史と伝統のあるふるさとの食・味を次世代に繋いでいく上からも非常に重要な取り組みであります。</p> <p>鹿児島県の食アンバサダーの認定は、鹿女短の持っている特徴を生かした独自の取り組みであり、今後卒業生が各分野で活躍していく中で、ふるさと鹿児島県の食文化を伝承する大きな役割を果たしてくれるものと思います。今後は、アンバサダーを多くの方に知っていただくことが重要であると考えます。</p> <p>また、この活動の目的である、食育の情報と技術の発信拠点となる食育ステーションの構築に向けて、今後も、様々なテーマで地域とともに、ふるさと鹿児島県の食文化を育て、守り、広げ、繋いでいく取り組みを期待しています。</p>
<p>⑤30年度の補助金の使用状況</p>	<p><調査・研究費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の機能性を活かした加工品の開発、食文化の調査・研究旅費 <p><広報・普及費></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の開発・印刷費 ・公開講座チラシ印刷費 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディング事業推進のための設備・備品の購入費 ・人件費(講師謝金等)